

心に残る・未来に残したい記憶

佃島・月島百景

～第2集～

実施団体：一般社団法人 和のたしな美塾 代表 宮本喜恵子

協力：芝浦工業大学教授 志村 秀明

月島長屋学校 志村研究室 区民有志
(一社)中野オーラルヒストリークラブ

ポケット・クリエイション 源 資

1

◇事業の趣旨

佃島・月島に長く暮らす方々の「生活の記憶」を動画で記録し、各種コンテンツを編纂

『佃島』

- 佃島が空間的にも社会的にも保全されるために、現代に生きる佃島の価値を示したい。
- 過去の歴史ではなく、歴史が現在まで脈々と受け継がれ、息づいていることを、島の内外の住民を含めた多くの人々に知ってもらいたい。
- 歴史的な文脈と生活文化が、将来のまちづくりに役立つことを知ってもらいたい。

『月島』

- 古き良き時代の月島を知る方々の高齢化や、再開発等による町並みの急激な変化のなかで、心に残る月島の風景とエピソードを後世に残し、語り継いでもらいたい。
- 長く暮らす方々の「生活の記憶」を通して、わが町への理解・愛着を深め、世代間交流を育み、「支え合い 助け合う」コミュニティづくり・まちづくりに活かしていきたい。

佃島百景～第2集～



田中寿子さん

佃1丁目（東町）昭和6年生まれ。
代々網元の家から分家しコマセ問屋を開いた祖父。分家の理由も驚きですが、物流が発達していない頃に遠く豊橋までコマセを届けていたというエピソードやご自身の体験談を貴重な写真や資料とともに語ってくださいます。ほかに「海苔づくり」「丸福の半纏と子ども半纏」など。



田中清美さん

佃1丁目（下町）昭和30年生まれ。
寿子さんの娘・清美さんが子どもの頃、三角公園で登校班のお兄さんたちと一緒に遊んだ思い出や、佃島と月島の親戚・知人が一堂に会して盛り上がった結婚式、佃島ならではの濃い人間関係、佃小橋の風景など、楽しいエピソードを語っていただきました。



福田ケイ子さん

佃1丁目（上町）昭和15年生まれ。
長野県から佃島へ嫁いだのは、佃大橋が開通する前の昭和37年。佃の街並み、ご近所のおばあちゃん、ふんどし一丁で歩き回るお年寄り、そして、お祭り...見る者すべてが驚きの連続だったというユーモラスな思い出を語っていただきました。



渡邊信夫さん

佃1丁目（上町）昭和20年生まれ。
昨年の秋、佃島説教所が取り壊される直前に渡邊さんに解説いただいた大変貴重な動画です。かつては珠算大会や書初め大会なども行われた55畳の本堂、浄土真宗のお寺の様式を整えた祭壇、築地本願寺再建時の佃門徒講の心意気、葬式の際に割烹着姿のおかみさんが動き回った台所...。後半では、芝浦工大・志村先生と小屋組みや外観の写真を見ながら、昭和9年に建てられ人々に親しまれた建築について思いを巡らせます。

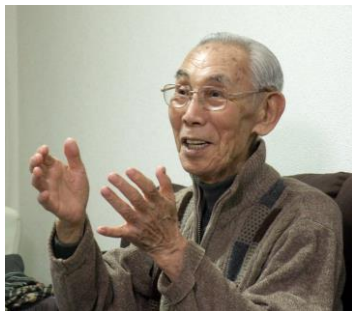


折本博史さん折本悦子さん

佃1丁目（上町）の折本博史さんが姉・悦子さんとともに、ご用意いただいた写真を見ながら、祭りとともに生活する佃の人々の様子、海苔の養殖について語っていただきました。今も徳川家に白魚を納める際に用いる献上箱、後半は船入堀を船で移動しながら、博史さんの子ども時代の思い出や、祭りの幟などが埋められている佃堀について語っていただきました。



月島百景～第3集～



鈴木英二郎さん

勝どき4丁目 昭和3年生まれ。戦前の勝どき（月島7～12丁目）の光景、車のあまり通らない清澄通りで行った三角ベース、現・豊海付近にあった海水浴場、勝鬨橋の開通式、焼夷弾を落としていくB29、野戦病院になった月島第二小学校...のことなど、実体験にもとづく貴重なエピソードの数々です。



柳田荘二さん

月島1丁目 昭和17年生まれ。空襲で門前仲町の工場を失って以来、月島で作業工具等の製造販売を続ける柳田産業。町会、お祭りの睦会、民生委員など長年に渡って地域に貢献した柳田さんの目線で、まち・商店・長屋の移り変わり、失われつつあるものを語っていただきました。



稲垣喜雄さん

月島1丁目 昭和10年生まれ。高2の時に疎開先から月島に戻り、家業・伊勢喜酒店の手伝いを始めた頃、月島には34軒もの酒屋があったそうです。競合を避けるため人家の少ない晴海や豊洲に営業に出かけた話、大型漁船に酒類を納めた話など、時代と地域性が感じられるお話です。



大矢つる子さん

月島3丁目 昭和19年生まれ。友人にその味を絶賛され、路地の一角にある自宅を改造して「牛もつ・げんき」を始めたのは今から二十三前。「下町の女」を自称する大矢さんの歯切れのいい、人情味あふれる話をお楽しみください。



佐藤光子さん

現・晴海在住 昭和16年生まれ。幼少期を過ごした月島8丁目の長屋の光景、引揚者の親子が営んでいたもんじゃ焼屋、中学生の時に移った都営住宅での意外な苦勞、友達と歩いて海水浴に出かけた東雲...。手描きの地図や後年撮影した写真と併せて、思い出を語ってくださいました。



中島泰子さん

昭和29年月島一丁目生まれ、佃島小学校出身。実家は「三幸」という仕出し弁当屋でした。現在は深川に暮らす中島さんにまちを歩きながら想いを伺いました。「佃島や月島の大人の姿を見て育ったことに感謝している」という地域愛あふれるインタビューです。

- 佃島、月島ともにコロナ禍で思うように進まなかったが、協力者や学生も参加して収録を進めた
- この3期のインタビュー収録は 「佃島」延べ10名 「月島」延べ28名 計38名
- 来期もすでに候補者をご紹介いただいている

◇2020年度の活動(成果の活用、イベント開催)

▶6月28日(土)

「復活 佃月島演芸館 伝えよう地域の記憶」終了後の上映会(旧佃島説教所)



事前予約(有料)の演芸会終了後、観客入れ替わりでの無料上映会を実施にも関わらず 約50名参加



上映後は大きな拍手をいただき、「来てよかった」「面白かった・興味深かった」「佃島のことをより深く知ることができて有意義だった」「感動した。私もぜひ若い頃の話をしたい」など、大きな反響があった。

上映した動画はホームページから視聴できるが、こうして地域の方々が集まって、更に感想を語り合ったり、それぞれの記憶を披露したりという機会をつくれれば、より一層有意義なものとなることを改めて実感した。

◇2020年度の活動(成果の活用、イベント開催)

「中央区まるごとミュージアム2020」

11月8日(日) 10:00-16:00



第1部 10:00-12:00 月島区民館(参加16名)

●月島の長屋生活を中心としたビデオ上映会

(今年度収録したDVDを上映)

●講演会「月島長屋の成り立ちと変遷」

(芝浦工大・志村秀明教授)

第2部 12:15-16:00 長屋体験・路地歩き(参加10名)

●現代に息づく長屋の見学 &

「AR付ビデオマップ」を使った路地歩き

元氣喫茶(月島2-7-13)~月島3丁目の住宅~月島長屋学校

長屋をリフォームした事例を見学しながらまち歩きを実施



元氣喫茶の塚田さん、西仲商店街「かね重」の寺本さん、床屋の馬場さんなど、これまで話し手として登場された方々にも直撃インタビューで直接お話しと伺うことができた

「元氣喫茶」昼食後、マスター塚田さんのビデオ上映と質問

「シェア長屋」

枝豆プロジェクト、子ども食堂の代表者・市川さんから、子ども食堂を始めたことや長屋に初めて住んでみての感想。ここで暮らす大学生・丸山さんから、ご近所の方との挨拶、まちへの愛着、暮らしの楽しさなど貴重な経験をしているという話

「長屋学校」志村教授が長屋の景観と建築について外観を見ながら説明

参加者のアンケートも好評だった

◇2020年度の活動(成果の活用、イベント開催)

「2020年度ビデオ上映会」

2021年2月13日(土) 10:00-16:00 月島区民館



心に残る・未来に残したい記憶
佃島・月島百景
ビデオ上映&講演・意見交換会

佃島・月島らしい人々の営みと生活文化に関するインタビュービデオを制作し公開しています。土地の記憶、長く暮らす方々の生活の記憶に触れることが、まちへの理解や愛着を深め、新たな交流を生み、未来のまちづくり・コミュニティづくりに貢献できると考えています。活動を始めて3年目となりました。三画を巡る対策を行いながらビデオの上映と講演会を行います。お問い合わせのうえ、お気軽にご来場ください！

日時：2021年2月13日(土) 10時～16時
場所：月島区民館(入場無料)

10:00～13:45 「佃島百景」「月島百景」ビデオ上映
 【佃島百景】江戸時代から続く歴史と伝統が息づく佃ならではのオーラルヒストリー(口述歴史)
 【月島百景】月島、船つき、町並みに関する生活の記憶
 【上映開始時間】10時～、11時～、12時～、13時～
 (各45分程度、二部屋に分かれてそれぞれ4回上映します)

14:00～16:00 芝浦工業大学 志村秀明教授 講演・意見交換

- 「身近な生活環境とオーラルヒストリー」
- 「オーラルヒストリーによる生活文化の発信」
- 「意見交換会」：動画の感想、活用等についてご意見をいただきます

【ご注意】

- ・会場内ではマスクの着用をお願いします。
- ・入場時に手指消毒機で検温後、受付をお願いします。
- ・観覧はございますが、撮影の対応を控えます。また、カメラの持ち込みはご遠慮ください。
- ・感染症予防対策のため、2月13日(土)の開催が可能な場合があります。中止の場合は、当活動ホームページにて掲載します。お問い合わせください。

お問い合わせ・主催
 一般社団法人 和のたしな美塾 代表：宮本季依
 メールアドレス：info@wanotashinami.org
 ホームページ：tsukishima100.com

協力 芝浦工業大学地域デザイン研究室
 月島区民館
 ボックストライアクション
 (一社) 中野オーラルヒストリークラブ

A4チラシ1100部、B4ポスター50部印刷。
 協力者に配ってもらい、ポスターは町会の掲示板にも
 張っていただいた

受付での検温、名簿記入、換気、SDなどコロナ対策を行った。
 当初予定していた志村教授の講演、学生の発表、意見交換会は取りやめた。
 チラシやSNS、個人のネットワークで告知。コロナ禍にも関わらず、
 昨年より多い、100名近い方が来場した。
 佃島、月島2本ずつ、計4本の動画を2つの部屋で上映。約4時間になるが、
 4本すべて視聴した方も何人かいた。



◇上映会アンケートより

Q 本日のイベントについて、ご感想やお気づきの点等あれば、お願いします。

- 佃二丁目に生まれて育って六十年あまり。最近この活動を知って大変興味深い思いである。
- 佃二丁目町会役員をしている。町内会イベント等でこういうビデオを観てもらいたいと思った。
- 関係者の深い思いや情熱をいっぱいいただいた。コロナという時代が何が一番大切なのかをつくづく感じさせてもらえた。
- 講演会と意見交換会が中止となったことは残念だった。是非次回はセットで開催していただきたいと思う。
- コロナの最中にもインタビューをしているいろいろと大変だったと思う。今後も第4集、第5集を続けて欲しい。
- コロナの中でも開催されたことを感謝している。 ・二部屋にしてよかった。音声がよく聞こえた。コンパクトに編集されていた。
- コロナ禍の今こそ下町の暮らしが必要になってくると思う。素晴らしい活動だと思った。
- 素晴らしいイベント、月島の昔の姿を知っている人々が残っているうちにできる限り記録に残すべき。
- 私も築地でやはり下町にずっと住んでいたの、子供の頃を思い出した。今の住まいでも令和の下町をつくってほしいと思った。
- 最近月島に引っ越してきた。地域になじみたいが入口が分からない。新旧住民の交流の機会があればどんどん参加したい。
- 私も住民としてこのような活動に関わりたい。 ・大変興味深く、懐かしく、感動した。
- 昭和 34 年月島生まれ。昨年実家（月島）に転居したが。両親が既に他界しているので、昔の話が聞けて懐かしかった。
- 月島に住んで 70 年以上。ただただ懐かしかった。今後も是非活動を続けてほしいと思う。また会場で知人に会えてよかった。
- 大変素晴らしい内容だった。自分たちが住む地域の歴史をこのような形で後世に伝えることは中央区の財産だと思う。
- 下町のとてもよい部分を紹介していただき、佃に既にずっと住んできた自分としては嬉しく思った。

◇今年度の制作物1

「地域雑誌 佃・月島」創刊号の発行



本事業の発展形と位置づけ、月島長屋学校や地域住民、学生と連動して雑誌を制作。4000部発行し、現在配布中。

図書館、高齢者施設などの公共施設をはじめ、「佃月島新聞」の読者、商店街などに配布した。上映会でも配布。

＜シニアセンター担当者＞

・スマホやパソコンがうまく使えないシニアの方々は活字に飢えているので、すぐに無くなった。評判が良くて、みんな喜んでいる。

・写真や記事で昔を思い起こされるようで仲間同士で盛り上がるようだ。

＜相田書店＞

・新しい住人の方が多く持っていかれる。評判もいいので、会社関係の方にもこれから協力を頂けるよう話をしておく。店が狭いので邪魔かなと思い10冊ずつ持っていったのだが、書店から100冊ほしいというFAXが届いた。店内2か所に設置してもらっている。

＜月島警察署警務係＞

・月島警察の歴史を再確認してくれた。「次号からは有料です」と話したら、「じゃ、協力しないといけませんね」と言ってもらえた。

＜区民館＞

・特に豊海区民館はロビーがあるので利用者や近隣の方々が読んで、持って帰っているようだ。他の区民館でもすぐに無くなるだろう。

＜その他＞

・美容室等などで「今までこのような地域雑誌がなかったので新鮮だ、読みたいので欲しい」という要望が多く寄せられている。

・もんじゃ協会振興会でもかなりの勢いではけている。

◇今年度の制作物2

DVD

上映会版

「佃島百景」Part1,2

「月島百景」Part1,2

月島百景～第3集～

約40本のショート動画版 若干数

いずれも話し手、学校、図書館、希望者へ配布

※京橋図書館からは追加の依頼があった

小冊子

「佃島百景」「月島百景」とも制作

話し手一名につき1～2Pで
ショート動画の概要を紹介し
ホームページへ誘導

地域雑誌「佃・月島」と同サイズの
A5版で制作し、併せて配布



テキスト版

文字起こしを整理したもので、
インタビューのほぼ全体を
テキスト化したもの

分量が多いため、順次ホーム
ページへアップしていく予定

◇今年度の制作物1

芝浦工大学生との連携

・ SNSによる情報発信

・各SNSによる投稿

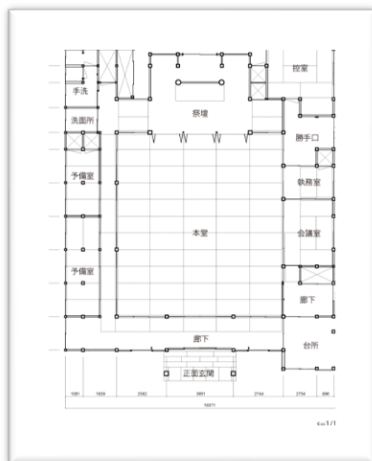


The screenshot shows three social media posts. On the left is an Instagram post with a grid of photos and a video thumbnail. In the middle is a Twitter post with text in Japanese and a video thumbnail. On the right is a YouTube video thumbnail. The text in the Twitter post mentions '月島百景' and '近所づきあい'.



志村研究室やゼミの学生が今年度も活動に協力してくれた

- ・元々なかった「佃島説教所」の平面図等の作成（「佃島百景上映会版Part 2」でも活用）
- ・アシスタントカメラマン（佃・折本さん撮影時）
- ・まるごとミュージアム、上映会の手伝い
- ・地域雑誌の編集、イラスト作成・題字
- ・SNSにまちの情報を発信し、当ホームページへ誘導...など陰で活動を支えてくれた



・ 地域雑誌

・佃島・月島百景広報ページ作成
→ オールラヒストリービデオの情報発信



The screenshot shows a magazine page with a QR code. The text on the page includes '佃島 月島百景' and 'オールラヒストリービデオのYouTubeチャンネルへ'. The QR code is located at the bottom of the page.

◇今後の方向性

- 佃島、月島とも、来年度のインタビュー候補があがっている。活動に共感してくれた方からの紹介も増えている。
- 「地域雑誌 佃・月島」は本事業の発展形として今後も継続していく。
現在、第2号を制作中であり、「オーラルヒストリー」と「写真館」というコーナーで本事業が制作したものを発表していく。
- 3年目の今年、緊急事態宣言中にも関わらず、多くの方が上映会へ来てくれた。
アンケートを見ても、上映会を楽しみにしている人や、活動に期待を寄せている人が年々増えていることがわかった。
少しずつではあるが、この活動が地域に浸透してきているのを実感している。
今後も継続して、住民に周知してもらえる活動を継続していくことが課題となる。
- 若い世代に知っていただく工夫が必要。引き続き、志村研究室の学生たちのアイデアや発信力を借りながら、少しずつ浸透させていきたい。
- 「中央区まるごとミュージアム2021」に参加する。月島区民センター（定員120名）の会場を借りて、上映会・意見交換会を実施したい。
- 3年間活動を続けてこられたこと、そして、多くの成果物を提供できたのは、中央区文化推進事業助成において多額の助成金をいただけたからこそと、心から感謝している。
そして改めて、「本事業の趣旨」の重要性を感じている。今後も細く長く、活動を続けていきたい。